

十一月二日

総帆展帆

行われる

さる、一月三日(水)、百名のボランテアの方々に参加いただき、海王丸の総帆展帆を実施しました。

当日は、今年最後の展帆日、快晴に恵まれ絶好の展帆日和となりました。

横浜の日本丸からも二名のボランテアの方が参加され、豊帆後の反省会で紹介されました。

レディー・マスト

を実施

一月三日の総帆展帆では、ボランテアの希望を受け、ミズンマストを女性だけの手で展帆しました。

参加された女性は三四名、大変な熱気のもと、手際よくマスト作業が行われました。

当日は、多数のテレビ局が取材を行い、夕方のローカルニュースで、女性だけによるマスト作業が紹介されました。

「ボランテアの集い」

の案内

財団では、総帆展帆に参加していただいたお礼を兼ねて、恒例の「ボランテアの集い」を左記のとおり開催いたします。

今年度、総帆展帆に参加していただいた方、都合で参加できなかった方も、奮って参加していただきますようご案内申し上げます。尚、当日来年の財団カレンダーをお配りします。

日時

平成五年十二月四日(土) 一八三〇〜二〇三〇

場所

富山県職員会館 二F TEL0764-41-4004

出席の可否を同封の葉書でお知らせください。

「ボランテア」からの

お知らせ

① セイル・アンベンディングについて

十一月六、七日の両日、海王丸の塗装工事及び冬季対策として、セイルの取り外し作業を行いました。前号でお願いしたとおり、今回初の試みとして、ボランテアの皆様と業務課員だけで実施することとなりましたが、両日ともに多数のご参加をいただきまして、無事セイルロッカーへ収納することが出来ました。

あいにくと天候が下り坂だったため、当初二日間を予定していたセイル収納作業を初日一日で実施かなりのハードワークにもかかわらず四四名の息がぴったり合い、流れるような作業で一六〇〇に無事終了しました。案の定その夜は新湊地区は雨となり、業務課員一同ホッと胸をなでおろした次第です。

翌七日、すでにセイルのない海王丸の姿にびっくりされたボランテアの方も多かったようですが、がっかりした気持ちは胸にしまい、ギアの本コイル、ロバンド作製、そして塗装工事の準備と、この日も手際よく作業していただき、チームワークの良さを再認識させていただきました。

両日ご参加いただいた延べ七八名の皆様、ありがとうございました。

海王丸整備工事等について

現在海王丸では秋の整備工事を実施中です。その内容は以下のとおりです。

- ・ステイ、シユラウドのター塗り
 - ・マスト、ヤードの総塗装
 - ・煙突、船尾フードの総塗装
 - ・木甲板のピッチ流し
 - ・その他、小修理工事
- 整備工事後、一二月二日に消防訓練を実施して、四日から一般公開を再開する予定です。

航海訓練所五十周年について

新海王丸の研修生受け入れ等皆様に馴染みの深くなりました。運輸省航海訓練所が、今年で創立五十周年を迎え、一月一二日横浜港で記念式典が挙行されました。我々業務課職員の古巣でもあります航海訓練所を、今後ともよろしくお願いいたします。

書籍の斡旋について

来年こそ日記を付けてみようと思っておられる方へ、変わった日記をご紹介します。

書名「船員日記平成六年版」 成山堂書店、千五百円 A5版、二五二頁

一般の日記と異なり、口絵には海運会社七〇社の代表船舶の写真が、また日記欄には潮汐・日出没データ、旧暦が、さらに巻末には船舶電話のかけ方、時差表、海事関係機関アドレス等が記載されています。

装丁はいささかダサイ?けれども、かなり風変わりな日記ですので、興味を持たれた方は、連絡葉書にてご注文下さい。引渡しは、ボランテアの集い当日を予定しております。

セイル作製

昨年度末、技術講座第一弾として、ボランテアの皆様とセイル二枚及び船尾フードスクリーンを作製しましたが、今年度も左記のとおり実施いたしますので、奮ってご参加ください。

作製予定セイル
フライングジブ
メインアップパーゲルンスル
セイル裁断日時
平成五年十二月一日(土)、
一二日(日)

午前十時頃
場所 日本海交流センター
申し訳ありませんが、お弁当は各自でご用意下さい。

セイル作製開始時期
平成六年一月中旬以降を予定
(詳細は、後日お知らせします。)

餅つき大会

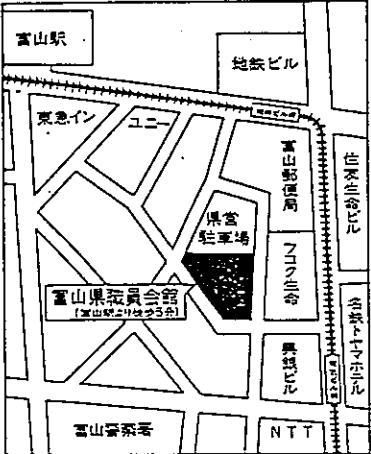
鏡開き

毎年、年末年始の恒例となっているボランテア主催、財団後援の餅つき大会と鏡開きを行います。この餅つき大会、鏡開きも今年で四回目。ボランテアの方のたくさんの方の参加を希望いたします。

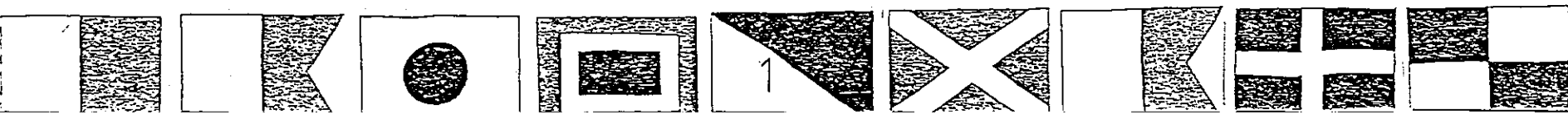
餅つき大会
準備日時
平成五年十二月十八日(土)
午後二時
場所 海王丸甲板上
包丁、まないた、タオル持参
(女性陣の参加を期待します。)

実施日時
平成五年十二月十九日(日)
午前九時 準備開始
午前一〇時 餅つき開始
(力仕事があるため、男性陣の参加を期待します。)

ご案内図



総合結婚式場 大壽殿
富山県職員会館
富山市新保町1番2号 TEL(0764)41-4004



鏡開き

準備日時 平成六年一月二五日(土) 午後二時
場所 海王丸甲板上
包丁、まないた、タオル持参 (女性陣の参加を期待します。)
実施日時 平成六年一月一六日(日) 午前九時 準備開始 午前一〇時 鏡開き開始 (力仕事があるため、男性陣の参加を期待します。)

スキーツアー

のご案内 坂橋 誠
ボランティア 皆様、お元気ですか。一月は霜月、誕生花(さざんか)、信賴誕生石(トパーズ)、十一月七日(立冬)、そしてさわやかな青空が広がり、県内各地では、文化祭やスポーツ行事が多彩に繰り広げられ芸術の秋、スポーツの秋本番となりました。そして北アルプス剣岳も純白の姿に変わる季節になり、冬も間近となってきました。冬のスポートといえば、なんといってもスキーです。
新湊スキー連盟では、毎年スキー教室、県外スキーツアーを開いています。
詳細は、左記の通りです。

スキー教室

S A J 全日本スキー連盟
日 平成六年一月三日、九日、一六日(三日間)
場所 ゴンドラスキー場
会費 一万五千元

県外スキーツアー

日 平成六年三月一九日、二一日(二泊三日)
場所 志賀高原
会費 未定

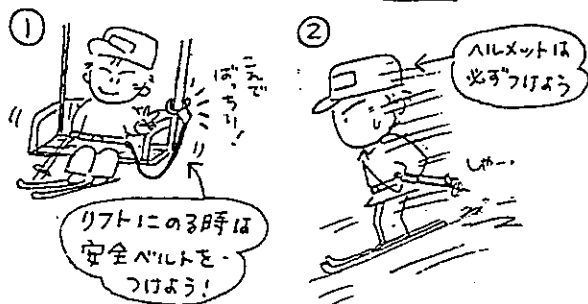
ボランティアの方で、興味のある方はお問い合わせください。
(Tel 0766-84-6329)

レディーズ

その反響は……
私は、職業柄、いろいろな年代の人に会うことが多い。その方々が、あれこれと声を掛けてくださる。「海王丸のボランティアちゃん何するの？」とか、「あんな高いところのぼるの？」とか。もつと極めると、「えっ、海王丸ちゃんまだおるの？」この前せつかく見にいったが、「おらんだよ」(オイ、オイどこへ見にいってんだい)なんてのもある。

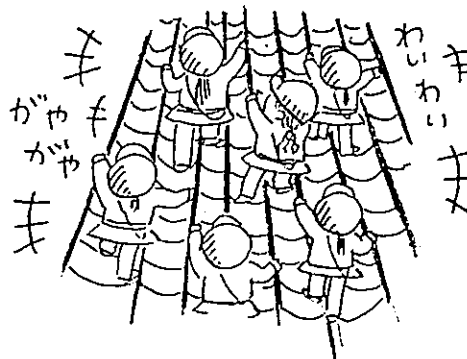
こんなわけの分からないことをいうお婆さんが多い中、さすが、我がクラスの歩美ちゃんは違う。「先生、明日女の人だけで帆をはるんでしょ。お天気だったら応援にいくからね。がんばってー」その声に励まされ、「うん、この企画が成功すれば、世の中の女性もますます見直され、女性の地位向上に貢献できるだろうー」などと、日頃気にしたことのない野望を胸に、職員室で思いっきり宣言し、私はその日を迎えた。さて、何事も新しいことをするには、いろいろと不安も付きまとうものであるが、特に気になったのはやっぱりハリヤード。本当にあの重いハリヤードが引けるのか……なんて心配もふつとぶ三十名以上の参加。うん、まずまず。

安全なスキーのために



いよいよマスト配置。

配置を決めまーす。
ハイ、ロイヤル希望！
(こんなイベントの日、ましてやよそのマスト。みんな高いところ行きたいだろうな。) ↑心の声
シユタツ↑手が挙がる音
心とは関係なく挙がってしまう手。藤井さんと、倉橋さんと私の迫力に押されたのか、あとほどなたも手を挙げない。



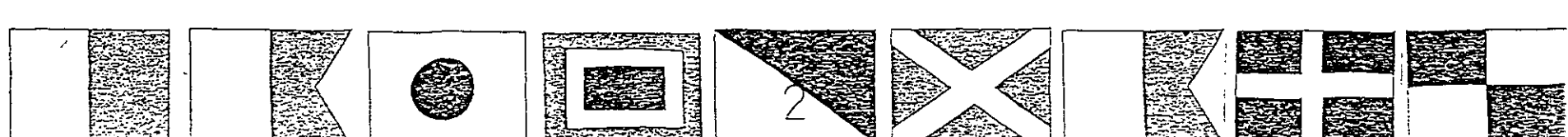
……ってことで、ロイヤルに行かせていただいたが、もう、ヤードに渡る頃にはへろへろになっていた。しかし、普段、ロイヤルから見ると景色もいいが、この日はまた格別！
そうなる、万葉歌人モドキの私(船輪 Vol.9 参照)といたしましては、一首詠まぬわけにはいかない。

海王丸 前から順に指差せば
メンズ メンズ
レディース シルバー

……とか何とかいってらううちにミスンマストの帆もすべてはりあげた。フォア、メインに比べて多少時間がかかったが、まずまずのでき(と勝手に思っている)。
曇帆の時だって、ヤードもなんのそのー(アンペンディングまで三日もてばいい。)
かくして、笹谷さんの爆発しそうな心臓と、釘本さんと古堅さんの「まっ、いいか」の目を気にしながらもレディースマストという降ってわいたようなイベントは幕を下ろすのであった。
(笹谷さん、釘本さん、古堅さんありがとうございました。)



して、その反響は……
「ちよっと、昨日のニュース、ずっと見とったけど、顔うつらんだぜ」
「(新聞を広げ) この写真のなかのどれけ？」
私..「なんん。私、もつと上やっ たもん。」
「なんんだ、写つたらんがけよ」あれっ?じよっ……女性の地位向上は……
世の中の反響は、この程度の物だったのである。
(私のまわりのごく狭い世の中のお話であるが……)
最後に、この次はもつととうまくやれるだろうとひそかに思っている女性ボランティアは少なくないはずだ。



モリノ・熊五郎

青い空には、立山の峰々が新雪を抱いて見える。一月三日・文化の日は、快晴。呉羽山のトンネルを抜け、太閤山の丘を下り、鏡宮の交差点を一直線に走ると、もう潮の香りがしてくる。

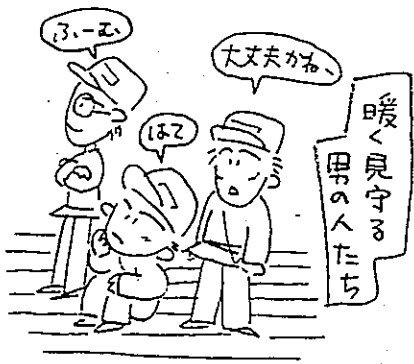
「今日は、船のスタッフには悪いが、絶対に展帆はしない。」と心に誓う。

そう思うのは私だけの善である。おそろく男性は、皆そう思っているに違いない。つまり今日はレディ・イン・ス・マスト、他のマストは男性だけなのである。非常に寂しい空しい光景が目に見えてくる。

いろいろ考えているうちに、見慣れた白い船体にオレンジ色の三本マストの海王丸―風景が見えてくる。

ようやく海王丸パークにつく。白鳥のような純白の衣を着た海王丸の姿を見るのも今年最後である。今日は、今年最後の総帆展帆日である。白のユニフォームにオレンジ色のヘルメットをつけた愉快な仲間達は、もう来ている。

今年最後と云う事で、参加者も一〇〇名を超え、女性も三四名で、どうやら、女性だけの総帆展帆の悲願が達成されそうである。



前宣伝?の効果抜群、マスコミ各社も駆けつけ、いよいよ展帆の開始、女性が三四名というのも大迫力である。

「よいしょ、よいしょ。」の黄色いかけ声に、セカンド、チヨッサーも緊張気味。

何時もの『鉄の団結』?と男性軍の『暖かい声援』の結果、他のマストよりも遙かに早く展帆を終えたのである。

最後に、ギャラリーの暖かい拍手に、手を振った、清々しい姿が目につかびます。

本当にご苦労さん。おめでとう。来年もチャレンジ。

「海王丸」って

ボランテア 野村 希世

海王丸も富山にきてはや四年近くなりましたね。富山県民で、海王丸のことを知らない人は珍しいのではないだろうか?と、皆さん思っていることではないでしょうか。私もそう思っていました。先日、会社で私の同僚のAさんと話すまでは……

私「ねえねえ、Aさん、十一月三日に海王丸が帆をひるげるから見においでよ。」

A「えー、でもお……私「どうして?見にきたこと無いんでしょ?」

A「うん、だって魚臭いんでしょ?」私「?」

A「海王丸って、カツオ釣ったりサンマ漁ったりしてたんじやないの?」

私「……もしかして、海王丸のこと漁船だと思ってる?」

A「ちがうの?」私「……」

こーいう人もいるんですね。私は悲しいっ!

「海」の世大話話

今回は番外編として、皆様おなじみのボランテア (Volunteer) という言葉を取り上げます。この言葉は海には直接関係はないものですが、実は朝日新聞の「天声人語」に、ここ数年の間に三回にわたって掲載されましたので、これらから抜粋しながらまとめてみます。

「ボランテア」という言葉は現在ではお年寄りから子供までごく普通に使用している言葉ですが、本来はラテン語で「自由な意志」という意味だそうなんです。ところがこれの日本語訳は意外にむづかしいようです。辞書には「自発的にある事業に参加する人。特に社会事業活動に無報酬で参加する人。」と書かれています。これをひとことと表すとすると……これが大変なのだそうなんです。

三十年近く前、日本青年奉仕協会 (JYVA) が発足するときは「奉仕」という言葉を使ったのですが、以後「奉仕は戦前戦中の強制を連想させるから好ましくない。」とか、「カタカナは外国かぶれ、奉仕でよい。」とか、かなりの議論が繰り返されましたが、いつの間にか「ボランテア」が一般化したのだそうです。

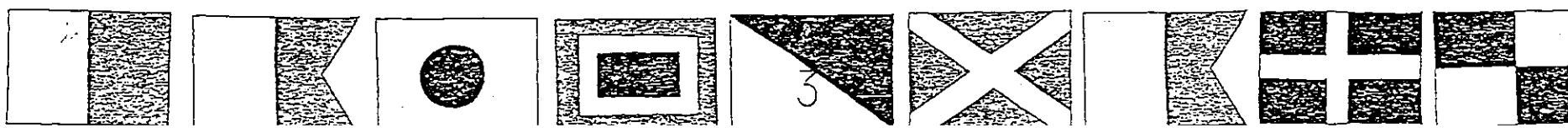
「天声人語」では、以下のように実に多くの日本語訳が登場しました。「自発奉仕」「自発的無償労働提供」「立意」「優気」「出前福祉」「奉仕作業者」「でしゃばり」「ボランテア」「心意気」「志願者」等々。

ところで「ボランテア」の主な要件は、自発性、公共(福祉)性、無報酬の三本柱と継続性があるが、最も重要な要素はやはり自発性だそうなんです。次には無報酬が来ますが、どうも海外ではよい人材を長期間確保するため、有償とすることが常識的になってきているそうです。(一方、ある人から聞いた話ですが、アメリカには「Give Live」という言葉があつて、それは年収の五パーセントと毎週五時間をボランテア活動のために提供することを意味するのだそうです。これは、もしわが身にふりかかるとしたら、本当にエライコッチャですが、多分に宗教的な背景があるものと思われ、除外した方がよいのかも知れません。)



もちろん財団としては、押し付け、強要等には十分配慮する必要があり、有償が無償に比べる関係なく、優秀な人材を確保するための努力を怠ってはならないことを、厳しく肝に命じなければなりません。ハイ。(ボランテア番号二九一番の勝山さん、どうぞよろしく!)

今後とも海王丸を末長くよろしくお願いたします。(藤井)



常務理事・事務局長

ボランテア 勝山 達雄

船輪が発刊されて、一〇号を数えるに至ったこと慶賀に耐えませ

ん。ボランテアの皆さんと船とを結び、加えて知識と教養が身につ

き、且つ肩のこらない情報誌を発刊したいという意見が業務部で持

ち上がった。

ところが、先ず、予算がない

(!?)。

これはもう致命的でしょう。次にイラスト入りとは云え、四四〇〇

余字の原稿を誰が書くのか、ネタ切れはしないか、出す限りは、そ

こそこのレベルまでは行かないと

等……。

わが笹谷編集長は、自らワープロを叩き、原稿はチョッサー始め乗組員の諸氏に渡りを付け、あまつさえボランテアの有志にもあの童顔(?!?)で執筆を迫り、毎号素晴らしい機関紙に仕上げている

かされたことに、心より敬意を表します。

私も当財団に着任以来、船舶関係の図書を読み漁っていますが、船に勤務する人達の文章上手に驚かされます。何処で勉強されているのかと考え込んでしまっています。

きつと、航海という異空間、非日常性の中で育まれるのかも知れません。そうと決まれば、マストへ登つての展帆作業もまさに異空間

ボランテアの皆さんの中から大作家誕生ということになれば、これ又、展帆の効用の一つかもしれませんね。

何はともあれ、船輪一〇号の発刊、本当におめでとう。

あしがき

海王丸では、富山での最後のブラックダウン(ステイ、シユラウドのタール塗り)、マスト塗装が終了し、現在は、木甲板のコーキング、ピッチ流しを行っています。

海王丸が、富山での冬を過ごすのも、四回目。暖冬が、続いているとはいえ、船齢六三年の海王丸にとつては、甲板に常時雪が在るという状態は、現役時代はなかつたことだけに、木甲板の傷み等は

かなり早いスピードで進んでいる感じがしています。

全国的にみても、富山県は比較的家屋が立派ですが、建てられて六〇年を越える家は県内でも少ないのではないのでしょうか。

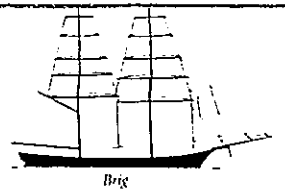
現役時代、世界一過酷といわれる北太平洋を年二回渡り、酷使されてきた海王丸にとつては、やはりつらい冬の到来であることには間違いありません。

試行として発行している「船輪」も今年最後の一〇号目、これもボランテアの皆様のご協力のおかげ、と感謝しております。

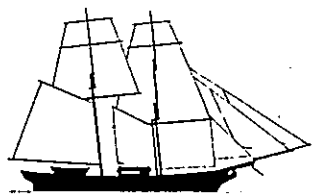
今後とも、ボランテアの皆様の投稿(イラストを含めて)をお待ちしております。

来年も、富山にある「海王丸」に絶大なるご支援、ご協力をお願いいたします。

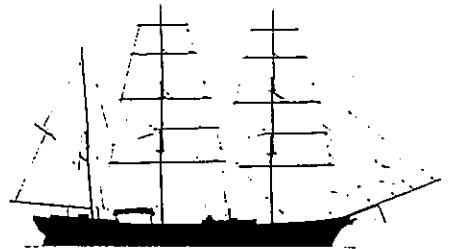
(望遠鏡)



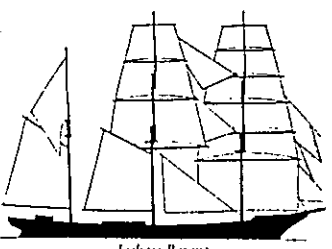
Brig



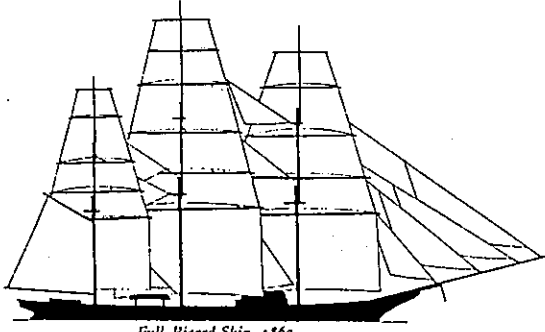
Main Topsail Brigantine



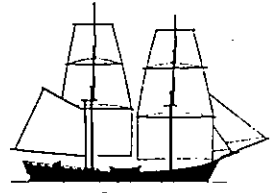
Barque



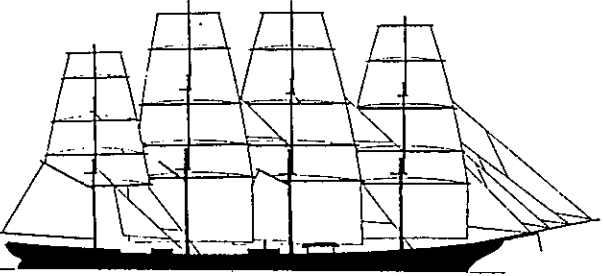
Jackass Barque



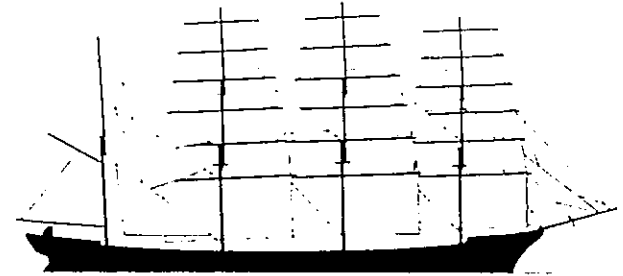
Full-Rigged Ship, 1860



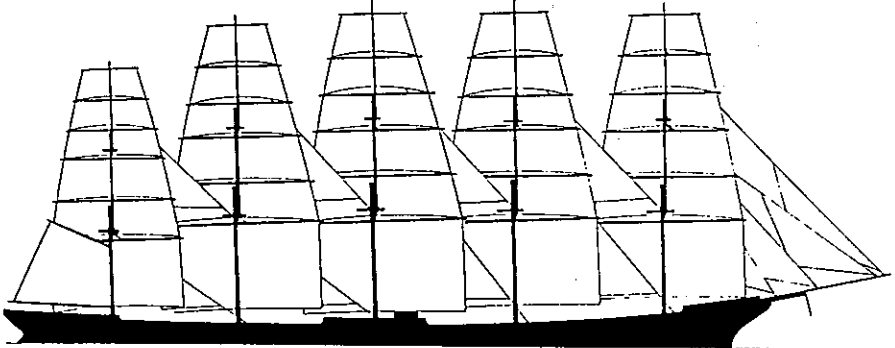
Snow



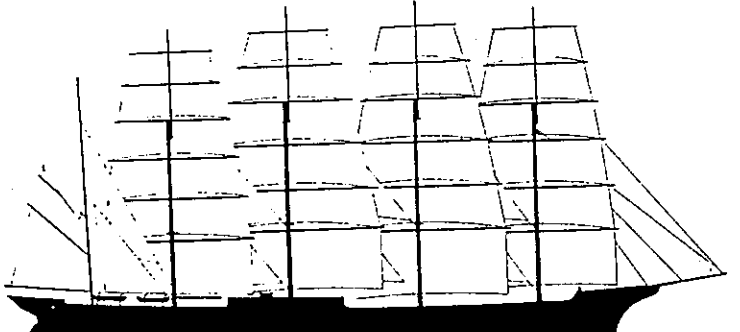
Four-Masted Ship



Four-Masted Barque



Five-masted Ship



Five-Masted Barque

